

夢の卵

葺盛塾通信

第14号平成22年3月14日発行

焦ってはいけません!!

余裕でいこう

イライラはいけません!

何事も簡単に短時間では達成できません。
心を冷静にして着実に取り組んでいきましょう!

カリカリもいけません!

うまくいかない時こそ笑顔になることです。
不機嫌な顔を人にハッキリなんて絶対にやめましょう!

ワクワクしましょう!



いつも新鮮な気持ちで前向きにチャレンジ
することです。
自分の力を信じて自分の夢を大きく
ふくらませましょう!

ドキドキしましょう!

無関心にならず何事にも興味や関心を
持ち続けることです。
心をときめかせて毎日の生活の中で
大事なものを探し続けましょう!



塾長の蔽盛です。

ほんの数時間前、“平成21年度中3最後の授業”が終わりました。(現在3月7日、9:17pmです)
そして、あさって(3月9日)はいよいよ公立高校の入試です。みんな~がんばれよー!

“中3最後の授業”のときに、毎年生徒に話していることがあります。それは「受験番号がわかったら、メールか電話で知らせるように。先生がその番号のメモを持って、合格発表の日(3月16日)に全部の高校を見て回るから。(と言うと必ず、何人かの生徒がえー、いやだーという反応を示します)くれぐれも注意しておくが、自信がなくても決して(ちょっと間を置いて)友達の番号を知らせてこないように」と言うところ、クラス中が笑いに包まれて最後の授業が終わります。これが毎年のパターンです。ところが今回は不覚にも、「受験番号を知らせるように」までは言ったのですが、肝心の後半部分の「友達の番号を……」のところを言うのを忘れてしまったのです。あー、失敗した〜!

この『夢の卵第14号』が新聞に折り込まれるのが3月14日、つまり合格発表の2日前です。蔽盛塾として、25回目の合格発表を迎えます。1年で一番緊張する日。そしてこの日のために日々がんばっていると言ってもいいほど大切な日です。

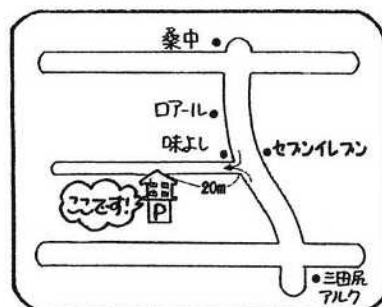
こんなことを考えていると、1回目(24年前)の合格発表のことを思い出しました。その当時の私は生徒に受験番号を聞く勇気もなく、発表の日にはただひたすら電話の前で、連絡があるのを待っていました。ところが夕方になっても、夜になっても誰からも電話がかかってくることはありません。「あかんわ、みんな落ちたんやー(何故か関西弁)」その日はショックで一睡もできませんでした(それはウソ)。翌日になって、もう待つのはいやなので勇気をだして受験生全員(といっても8人ですが)に電話しました。すると、なんと全員合格!初めての受験生が結果をだしてくれて、本当にうれしかったのをよく覚えています。それからこの仕事にはまってしまうような気がします。気がついたら、いつの間にか24年。オリンピック6回分(ナンノコッチャ!)。当時の中3生も今年、40歳を迎えます。そしてその子供たちが蔽盛塾に来るようになって、親子2代に渡って塾生になってくれる人たちが何人もいます。うれしい限りです。

私は成年生まれです。27歳でこの仕事を始めて、最初の中3生も一回りちがいの成年生まれでした。そしてめぐりめぐって、今年の中3生も三回りちがいの成年生まれです。計算すると私の歳がばれてしまいますが…。後何年この仕事ができるかなーと、時々考えるようになりました。最低でも次の成年生まれの子供たちが高校受験をする年までは、がんばりたいと思います。「おーい、今3歳の成年生まれの子供たちー、早く大きくなって、蔽盛塾においでー」

くら もり ひゅく
蔵盛塾

お問い合わせは、お気軽に!

0835(26)0800



防府市鞠生町7-25

